■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この保証書は、記載内容（無料修理規定）に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書（製品明細の記載があるもの）」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間（週5日として1日8時間）の労働時間を想定しています。
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされるところ(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。

お試し用の電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。
また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。

3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。

4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承願います。
(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品（弊社指定部品）の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくは重大な過失による故障または破損
(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷
(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
(ヨ)使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
(タ)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生
(レ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
(ソ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象（におい、音鳴りや振動など）
(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損

5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。

7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

コクヨ株式会社

本社オフィス　〒537-8686　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL　https://www.kokuyo.co.jp/

お問い合わせ、ご相談は
お客様相談室
kokuyo.jp/soudan/

2211020436CKH

KOKUYO

取扱説明書

STANDSIT
スタンジット

単柱電動昇降テーブル　DSS-LS0906F

組み立てかたの動画はこちら

※㉓ページとあわせてご覧ください。

**このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。**

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

もくじ

1.安全上のご注意…… 1
2.末永くご使用いただくためのご注意… 4
3.各部のなまえとはたらき…… 5
4.配線のしかた…… 6
5.使いかた…… 11
6.お手入れのしかた…… 19
7.故障かな?と思ったら（不調診断）…… 19
8.部品の交換について　…… 22
9.仕様…… 22
10.組み立てかた　…… 23
11.組立後の作動確認　…… 34

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告　取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意　取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

●コンセントがある場合、コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が最大消費電力以内で使用してください。
これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。

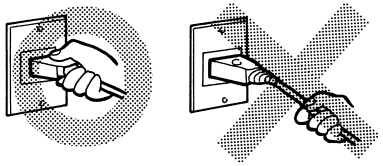
●棚板、引き出しに収納するときは、バランスよく収納してください。
上段や手前に偏った収納をすると、転倒によるけがのおそれがあります。

●製品を廃棄するときは、焼却しないでください。
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●コンセント、電源プラグ、コードがある場合は、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。

- 温度・湿度の高い場所では使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。
- コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。
- 電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。



- 暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。
- コンセントや配線に水がかからないように注意してください。
- コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。
- コードを止め金などで固定して使用しないでください。
- コードをたばねて使用しないでください。

- コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。
- コードを敷物の下にして使用しないでください。
- コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。
- コードが傷ついたままで使用しないでください。
- コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。
- コードをワゴンなどで踏み付けないでください。

●健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

- この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。
- この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

●運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。（特にお子様にご注意ください。）
転倒や破損により、けがをする原因になります。

●使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）
けがをする原因になります。

●製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。（特にお子様にご注意ください。）
転倒や転落により、けがをする原因になります。

●天板の端に体重を掛けたり、重いものをのせたりしないでください。
転倒や破損によるけがの原因になります。

●床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。
転倒によるけがの原因になります。

●製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。
転倒によるけが・破損の原因になります。

●専用のオプションパーツ以外は取り付けないでください。
落下によるけがや破損の原因になります。

●製品を設置する際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。
前傾した状態で設置すると、トレーから内容物が流れ出たり、本体が倒れてきて、けがをするおそれがあります。

●可動部（引き出しや配線カバーなど）のすきまに手や指を入れないでください。
けがの原因になります。

●のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。
ものが落下して、けがをするおそれがあります。

●可動部に注油しないでください。
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

●コードダクト、コード受けにかばんなどを引っ掛けないでください。
落下によるけがや破損の原因になります。

●移動させるときは、のせているものをすべて取り除いてから行ってください。
のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。

●移設するときは、天板を最低位置に下げ、必ず2人以上で天板を持ち、持ち上げて行ってください。
引きずりますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。

●移設するときは、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。

●持ち上げた製品を置くときは、製品と床が平行になるようにして、ゆっくり下ろしてください。
斜めの状態で下ろしますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。

●製品の分解や改造はしないでください。
けがや故障の原因になります。

●ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。
やけどや火災の原因になります。

●乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。
けがや故障・破損の原因になります。

●ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

●溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用していますと、製品の破損により、けがをするおそれがあります。

●トレーなどが変形した状態で使用しないでください。
落下や転倒などにより、けがをする原因になります。

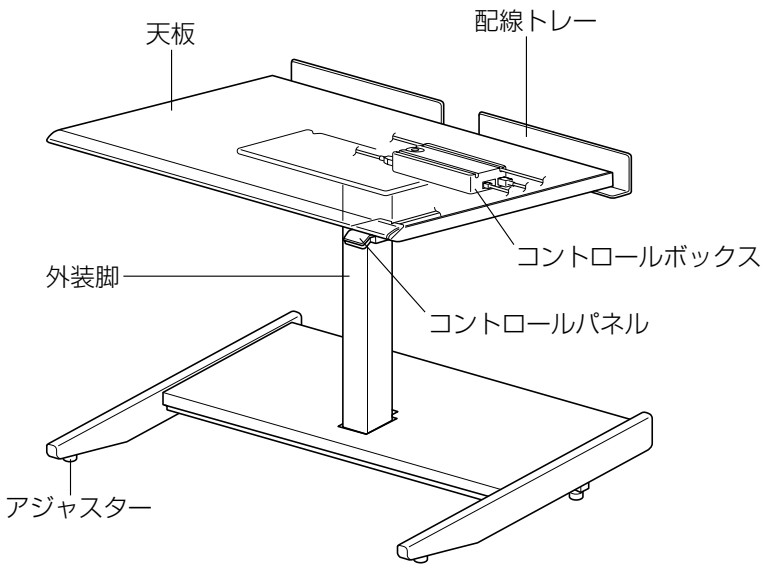
●製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。
誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。

●この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

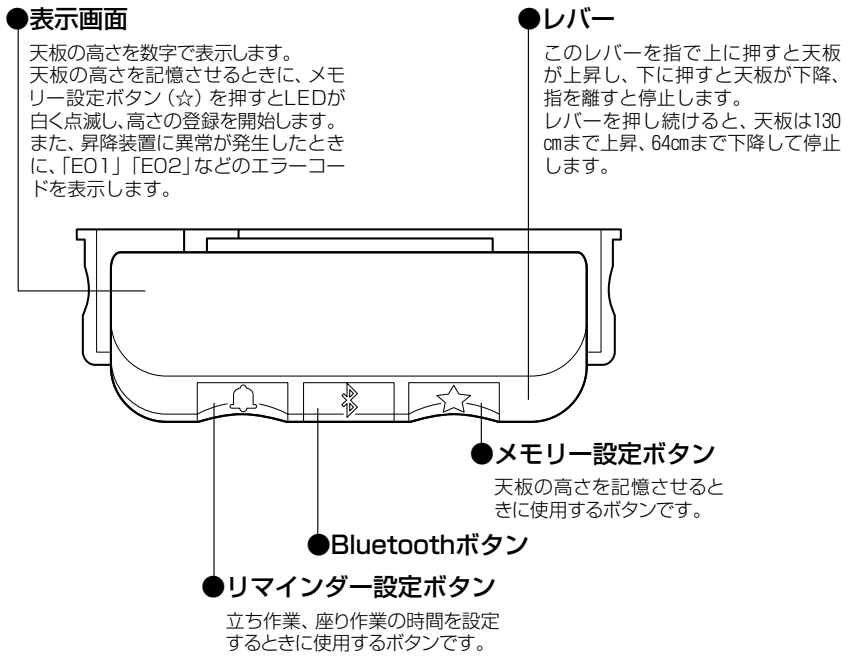
2.末永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。
  屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・反り・変色・カビの発生の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、エアコンの風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
  変色や変形・そりなどのおそれがあります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。
  表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなどを直接置かないでください。
  白く変色するおそれがあります。茶たくやなべ敷きを敷いて使用してください。
- 配線カバーの上に、重いものをのせないでください。
  落下や破損の原因になります。
- 天板の上に、金属や陶器などの硬いものを直接置かないでください。
  表面を傷つける原因になります。
- 使用開始後、のせたものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出てくることがあります。そのときは再度、本体の水平をアジャスターで調整してください。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.各部のなまえとはたらき



〈コントロールパネル部〉



4.配線のしかた

⚠警告

- **交流100V以外の電源電圧で使用しないでください。（海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。）**
  火災や感電・故障の原因になります。
- **配線作業は、必ず昇降停止状態で行ってください。**
  けがをするおそれがあります。
- **タコ足配線は絶対にしないでください。**
  ショート・火災の原因になります。
- **デスクやテーブルの配線コードや電源コードは、必ず付属のコードをご使用ください。**
  ショート・火災・感電のおそれがあります。
- **電源コードは傷つけないように注意してください。また、コードが傷ついたときは、絶対に使用しないでください。**
  ショート・火災・感電のおそれがあります。
- **延長コードや機器のコード類は、最大高さでの使用を想定して、十分な長さのものをご使用ください。**
  断線や機器の転倒・落下により、ショート・感電・けが・破損のおそれがあります。
- **延長コードや機器のコード類を配線するときは、天板の昇降時に絡まったり、引っ掛かったりしないように注意してください。**
  断線や機器の転倒・落下により、ショート・感電・けが・破損のおそれがあります。

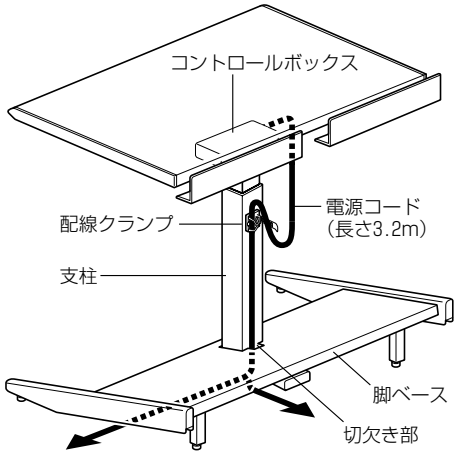
1 配線のしかた

本体の電源は2通りの配線が可能です。使い勝手の良い方で配線してください。

コントロールボックスから直接外部電源に接続する場合

コントロールボックスに差し込んだ電源コードを図のように支柱に這わせ、脚ベースの切欠き部を通して外部電源に接続してください。

※このとき、支柱に取り付けた配線クランプで電源コードを固定してください。（㉙ページ「**2**」参照）

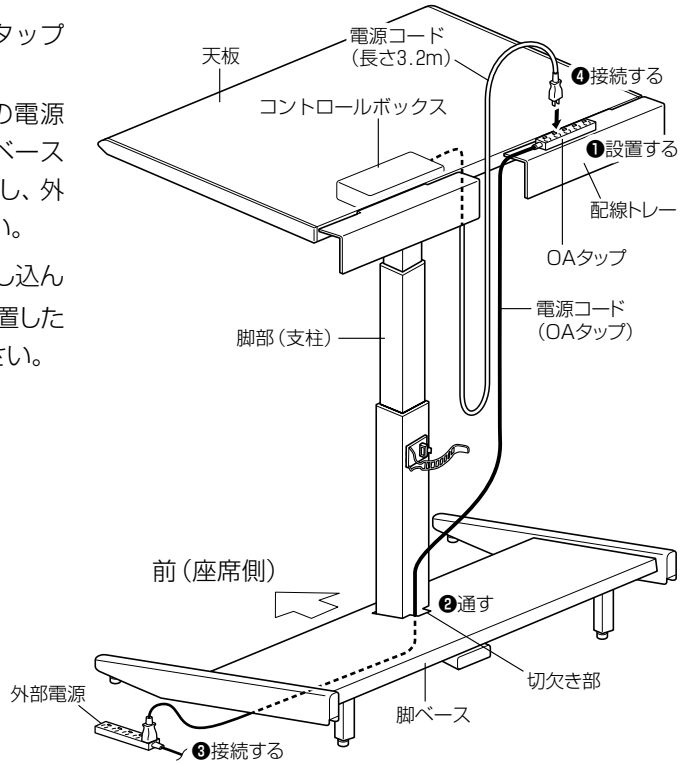


机上や配線トレーに設置したOAタップに接続する場合

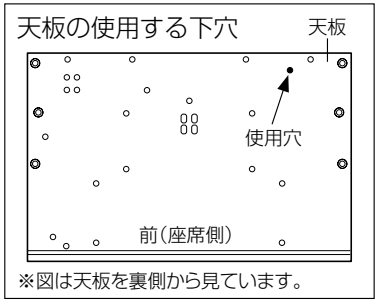
1.天板や配線トレーにOAタップを設置してください。

2.「**1**」設置したOAタップの電源コードを、図のように脚ベースの切欠き部を通して配線し、外部電源に接続してください。

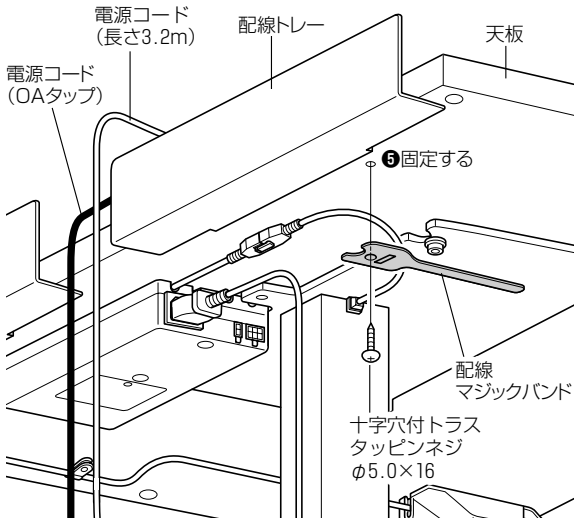
3.コントロールボックスに差し込んだ電源コードを「**1**」で設置したOAタップに接続してください。



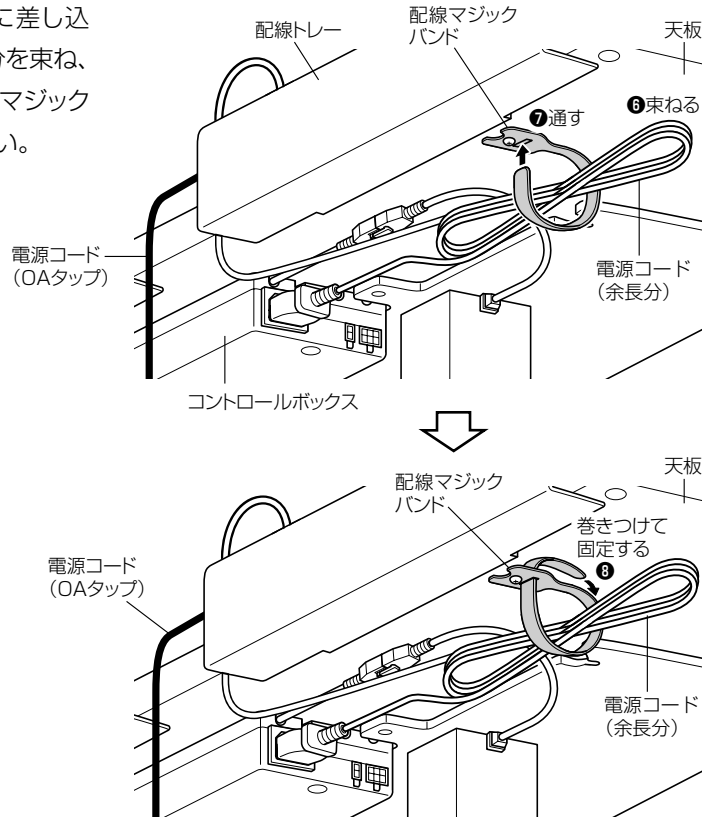
4.天板裏に配線マジックバンドを、図のようにボルトで固定してください。



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)



5.コントロールボックスに差し込んだ電源コードの余長分を束ね、「**4**」で取り付けた配線マジックバンドで固定してください。

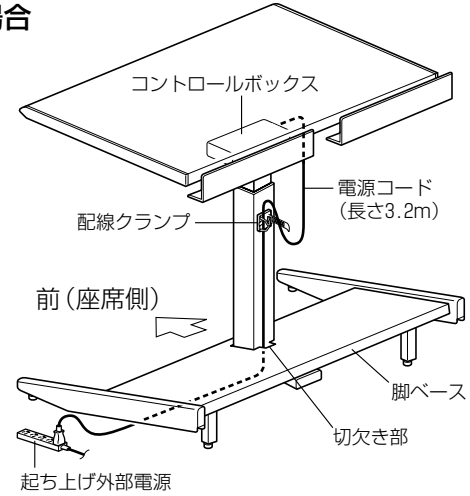


6.⑥ページ1と同じ要領で、OAタップの電源コードを配線マジックバンドで固定してください。

2 外部電源へ接続のしかた

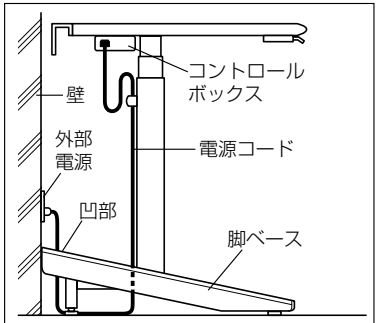
床からの起ち上げ外部電源に接続する場合

図のように、脚ベースの下側を通して配線し、床からの起ち上げ外部電源に接続してください。（⑥ページ1参照）

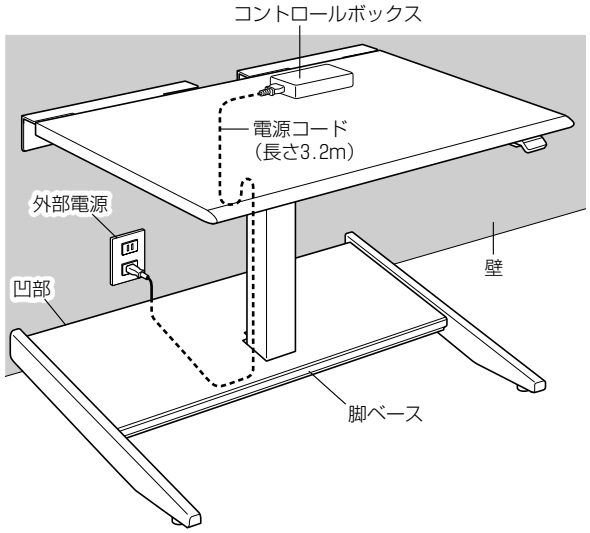


壁の外部電源コンセントに接続する場合

図のように、電源コードを脚ベース壁側の凹部のすきまに通して配線し、壁に設置された外部電源コンセントに接続してください。



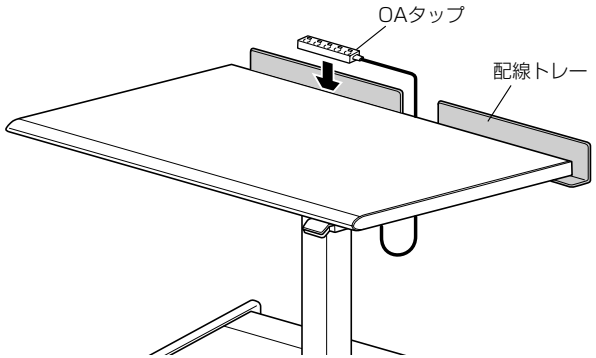
※図は横から見ています。



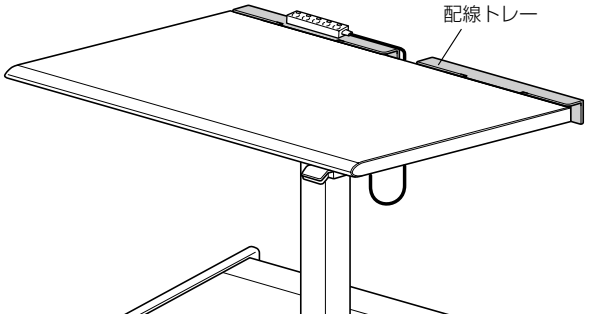
3 配線トレーの使いかた

配線トレーには用途に応じて3種類の取り付けかたができます。また左右の組み合わせで9通りの取り付けかたが可能です。

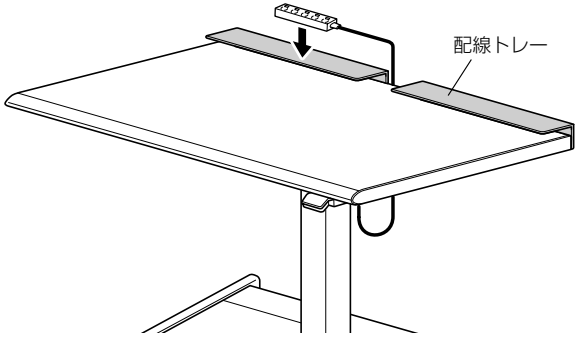
配線トレーとして使用する場合



拡張天板として使用する場合



机上トレーとして使用する場合



5.使いかた

⚠警告

- **異音や異臭・煙が出るなどの異常が発生したときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
  異常状態のまま使用していますと、ショートや感電・火災・故障のおそれがあります。
- **脚（モーター部）やコントロールボックス、コントロールパネルに水や異物が入ったときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
  そのまま使用していますと、ショートや感電・火災・故障のおそれがあります。
- **操作が理解できないと思われる人や、幼児や子供がコントロールパネルに触れる可能性がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、操作できないようにしてください。**
  誤操作による事故の原因になります。
- **屋外や水のかかる場所では使用しないでください。**
  ショート・火災・感電・漏電の原因になります。
- **コントロールパネルやコントロールボックス、脚（モーター部）に強い衝撃を加えないでください。**
  誤作動によるけがや故障・破損の原因になります。

⚠注意

使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）
けがをする原因になります。

- **天板の端に体重をかけたり、重いものをのせたりしないでください。**
  転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- **脚ベースの上に立ったり、強い衝撃を加えないでください。**
  転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- **脚の昇降摺動面は、滑りをよくするために潤滑油が塗られて筋のように見える部分がありますので、接触しないようにご注意ください。**
  手や衣類を汚すおそれがあります。
- **配線トレーに強い力や衝撃を加えないでください。**
  破損によるけがの原因になります。
- **コントロールパネルに強い力や衝撃を加えないでください。**
  けがや破損の原因になります。
- **配線トレーにもたれ掛かったり、手をついたりしないでください。**
  変形や破損によるけがの原因になります。
- **移設するときは、オプションやのせているものを、すべて取り除いてから行ってください。**
  のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。
- **製品を移設するときは、必ず電源プラグを外し、コード類を引っ掛けたり傷つけたりしないように注意して行ってください。**
  コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。

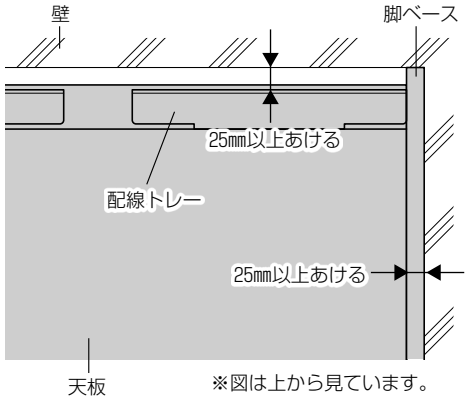
- **移設するときは、天板を最低位置に下げ、必ず2人以上で天板を持ち、持ち上げて行ってください。**
  引きずりますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。

1 設置位置について

テーブルを設置するときは、天板と配線トレーが壁面や隣り合うものから25㎜以上離してください。

⚠注意

天板と配線トレーが、壁や隣り合うものとの間に、間隔を25㎜以上空けて設置してください。
昇降時に指やものをはさむおそれがあります。



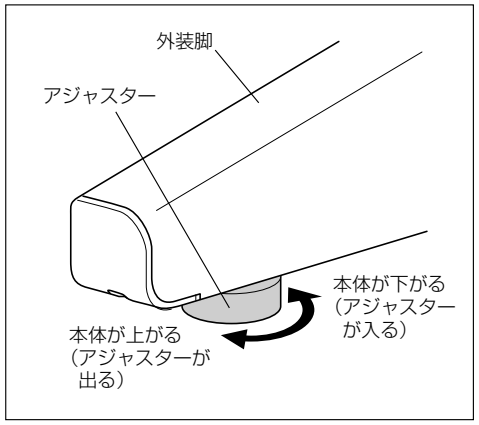
- **移設するときは、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**

2 レベル調整のしかた

テーブルを設置した際にガタツキのある場合は、外装脚のアジャスターを調節して、レベル調整してください。

⚠注意

- **アジャスターの調節は、必ず2人以上で行い、テーブルをしっかり支えてください。**
  手や足をはさみ、けがをするおそれがあります。
- **本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意してください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。



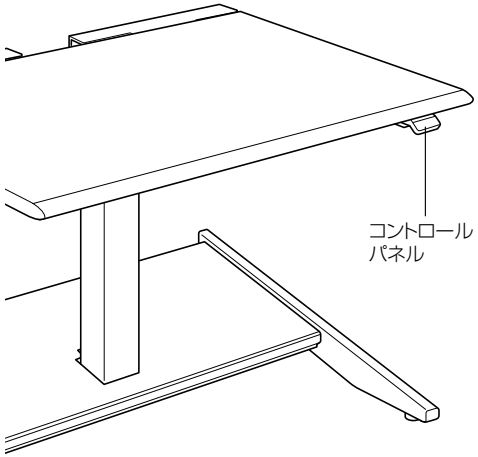
3 天板の昇降操作のしかた

⚠警告

- **昇降の連続操作は、1分以内にしてください。また、1分間連続操作をしたときは、必ず10分以上操作をしないでください。**
  モーターに負荷がかかり、ショート・火災・故障・破損のおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、必ずイスから立ち上がってください。**
  イスに座ったままで操作しますと、足をはさまれて、けがをするおそれがあります。
- **テーブルに人が寄り掛かったり、手や肘をついたりした状態では、昇降操作をしないでください。**
  転倒やはさまれたりして、けがをする原因になります。
- **昇降操作中は、人が近寄らないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、天板の下に人やものが無いことを確認してから行ってください。（イスの背や肘、ワゴンなどにご注意ください。）**
  けが・破損・故障のおそれがあります。
- **昇降中の天板の下にもぐり込んだり、頭・腕・足・手を入れたりしないでください。（特に、お子様にご注意ください。）**
  天板に当たったり、はさまれたりして、けがをする原因になります。
- **昇降中の脚など、可動部には絶対に手を触れないでください。**
  けがをする原因になります。
- **昇降操作中に、万一イスやワゴン・棚などに当たったときは、直ちに操作を中止し、天板を戻してください。**
  転倒や破損により、けがをするおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、天板上面に偏ってものを設置したり、置かないようにしてください。**
  故障や破損によるけがの原因になります。

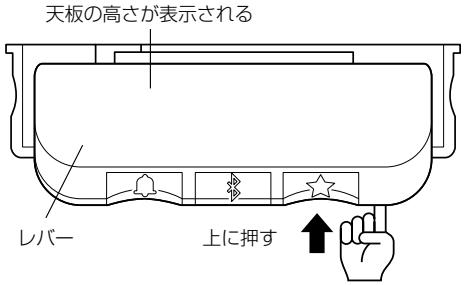
- コントロールパネルを操作することによって、天板の高さ調節が行えます。
- 昇降中に天板やデスクトップパネルが障害物に接触するとはさみ込み防止機能が働き、操作中でも天板は自動的に止まり、約3cm戻ります。

〈ご注意〉
コントロールパネルを小刻みに操作した場合は、はさみ込み防止機能が働きませんのでご注意ください。



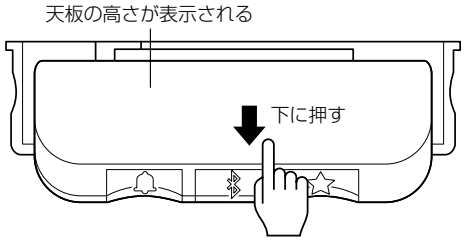
天板の上げかた

レバーを指で上に押し続けると天板が上昇し、天板の高さが表示画面に表示されます。レバーから指を離すと天板は止まります。
※天板は130cmまで上昇させることができます。



天板の下げかた

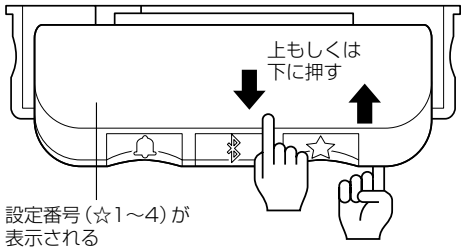
レバーを指で下に押し続けると天板が下降し、天板の高さが表示画面に表示されます。レバーから指を離すと天板は止まります。
※天板は64cmまで下降させることができます。



メモリー設定した高さへの天板の上げ・下げのしかた

レバーを上に押し続ける、もしくは下に押し続けると、あらかじめ設定された高さまで昇降して一時停止し、表示画面に設定番号（☆1～4）が表示されます。

〈ご注意〉
この操作をするためには、⑮ページの「4 メモリー設定のしかた」の設定が必要です。



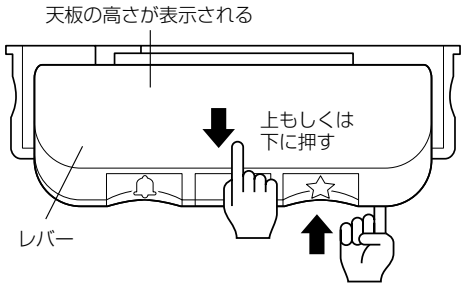
4 メモリー設定のしかた

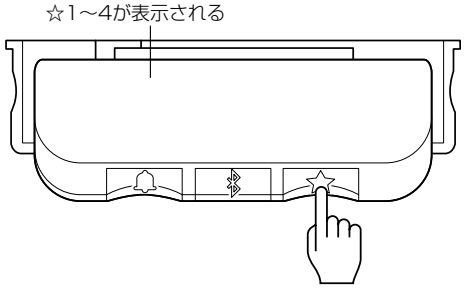
コントロールパネルのメモリー設定ボタン（☆）で、用途に合わせて☆1～4に天板の高さを4つ記憶（上書き）させることができます。

1. レバーを上もしくは下に押して、記憶させたい高さに天板を合せてください。

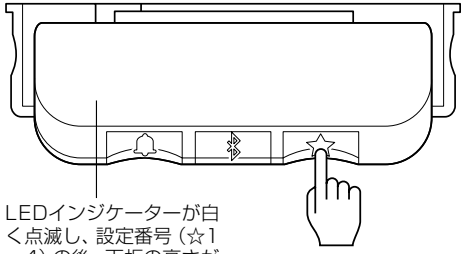
※天板の高さは、表示画面で確認してください。

2. メモリー設定ボタン（☆）を押すごとに☆1、☆2、☆3、☆4と順に表示されます。



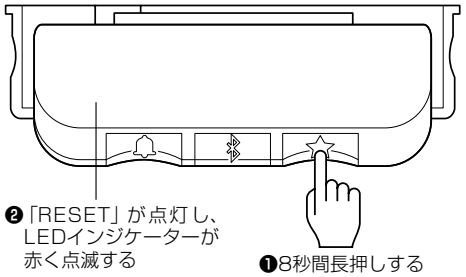


3. 任意の☆の番号を表示させた状態で、メモリー設定ボタン（☆）を2秒長押しして指を離してください。
表示画面のLEDインジケーターが白く点滅し、押したボタンの番号（☆1～4）が表示され、天板高さが記憶（上書き）されます。



5 設定したメモリーの消去

メモリー設定ボタン（☆）を8秒間長押ししてください。
設定したすべての高さメモリーが消去され、表示画面に「RESET」が点灯し、LEDインジケーターが赤く点滅します。

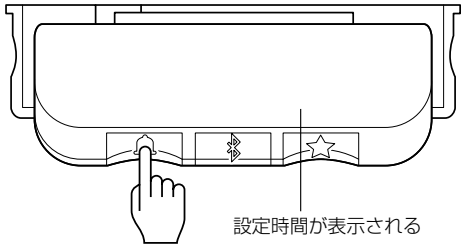


6 リマインダー機能の使いかた

座り時間の経過をお知らせするリマインダー機能を設定できます。

リマインダー機能

座り時間がリマインダー設定ボタンで設定した時間を超過すると、表示画面のLEDインジケーターがオレンジ色に速く点滅し、立つ時間であることをお知らせします。
天板を立つ位置に上昇させると、LEDインジケーターは緑色に変わり、ゆっくり点滅します。



設定のしかた

デフォルトでは、立ち時間・座り時間の配分が、60分に対して5分･55分、10分･50分、15分･45分の3種設定されています。リマインダー設定ボタン（🔔）を押して、画面に表示された任意の時間間隔を選んでください。LEDインジケーターが緑色に点滅して確定します。
使用しない場合はOFFを選択してください。

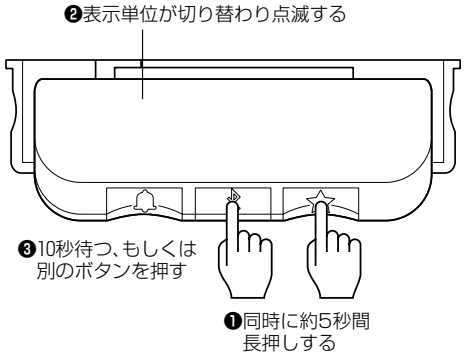
リマインダーの時間間隔

	①	②	③	④
立ち時間	5分	10分	15分	OFF
座り時間	55分	50分	45分	

※LEDインジケーターがオレンジ色に点滅するのは、座り時間を超過した時のみです。

7 表示単位の切り替え

フルスペックレバータイプは、センチメートル表示とインチ表示を切り替えることができます。
メモリー設定ボタン（☆）とBluetooth（✱）ボタンを同時に5秒長押ししてください。
表示が切り替わり「CM」もしくは「INCH」の表示が点滅したら、レバーを上もしくは下に押して単位を切り替えてください。10秒待つか別のボタンを押すと、変更した単位が確定します。

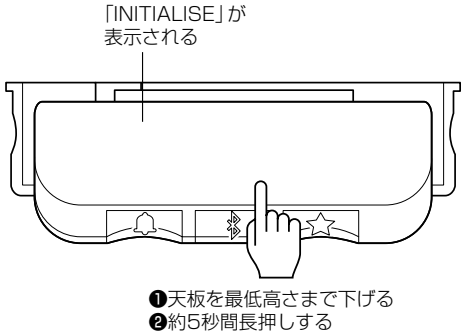


8 コントロールボックスの初期化のしかた

表示画面の数値と実際の天板の高さにズレが発生したとき、または表示画面に「INITIALISE」が点灯したときは、下記の要領で、コントロールボックスの初期化をしてください。

1.天板の下に、イスやワゴンなど下降時に接触するおそれがあるものがあれば、取り除いてください。

2.レバーを押して天板を最低高さまで下げ、さらにレバーを約5秒間長押ししてください。表示画面の「INITIALISE」が消え、下に1㎜下がって戻り初期化されます。

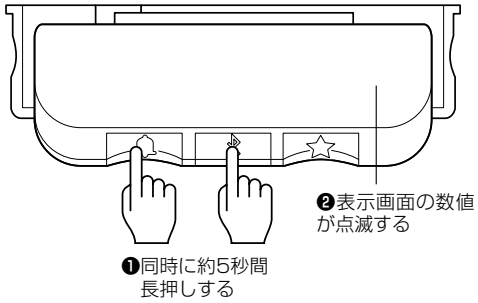


〈ご注意〉
別製仕様にて最低高さを変更されている場合、初期化を行うと天板は一時的に64㎝まで下降しますが、再度上昇させてから下降させると設定した高さで止まります。

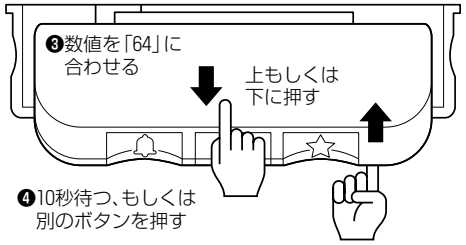
以上で初期化は終了です。
※⑰ページの「9表示画面の再設定のしかた」も必ず続けて行ってください。

9 表示画面の再設定のしかた

1.天板を最低高さまで下げた状態で、リマインダー設定ボタン(🔔)とBluetoothボタン(✱)を同時に、約5秒間長押ししてください。



2.表示画面の数値が点滅したら、レバーを操作し、表示画面の数値を「64」に合わせ、10秒待つか別のボタンを押してください。天板高さ設定が再設定されます。



操作は以上です。

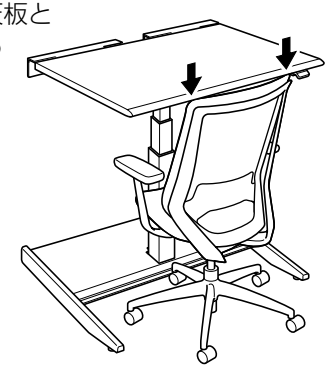
10 はさみ込み防止機能について

昇降操作中に天板が障害物に接触して、一定の負荷がかかるとはさみ込み防止機能が働いて、自動的に約3㎝戻ります。
昇降操作中にはさみ込み防止機能が働いたときは、天板に接触している障害物を取り除いてください。

⚠警告

- **はさみ込み防止機能は、障害物や製品の破損を未然に防ぐ機能ですが、すべての条件下での作動を保障するものではありません。**
- **障害物が柔らかいもの(クッションやバッグなど)、障害物がたわんだとき、障害物の端だけが接触しているときは、はさみ込み防止機能が正しく作動しないことがありますので、直ぐに操作を中止してください。**
- **昇降操作をする前に、天板の下や周囲に接触するようなものがないか確認し、ある場合は取り除いてください。**

イスの背が天板と
接触している



- **コントロールパネルを小刻みに操作して昇降させると障害物に接触して、天板が傾くおそれがあります。そのときは、㉑ページ「7.故障かな？と思ったら(不調診断)」の「●昇降操作中に、天板が傾いてしまった。」の欄を参照してください。**

11 移設するときの注意事項

⚠警告

- **移設するときは、機器の配線やのせているもの、オプション類をすべて取り除いてから行ってください。**
  断線やのせているものの転倒・落下によるけが・破損のおそれがあります。
- **オプション類の取り付け・取り外しをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  作業中に誤ってボタンやレバーに触れると、天板が昇降して、ケガや破損のおそれがあります。
- **移設するときは、天板と配線トレーが、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**

⚠注意

- **移設するときは、必ず二人以上で持ち上げて行ってください。**
  引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。

6.お手入れのしかた

⚠注意

- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  また、水洗いはしないでください。
  感電・ショート・故障の原因になります。
- **お手入れの際に、コントロールパネルやコントロールボックス、脚(モーター部)、配線コードに水をかけないでください。**
  感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- **長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、コードを結束バンドでたばねてください。**
  ショート・火災のおそれがあります。

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
  1.うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
  2.水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
  3.乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf

7.故障かな?と思ったら(不調診断)

こんなときは →	こう処置してください
● 本体がグラグラ(ガタガタ)する。	レベル調整が正しく行われていないことが考えられます。アジャスターで調節してください。
	各部のボルトがゆるんでいることが考えられます。ゆるんでいる場合は、締め直してください。

こんなときは →	こう処置してください
● 天板が動かない。 ● レバーを上に押しても天板が上昇しない。 ● レバーを下に押しても天板が下降しない。	電源プラグがコンセントに、確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。
	コネクタがコントロールボックスに、確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。
	電源コードやコントロールボックスからのコード類が損傷(断線)していることが考えられます。損傷(断線)しているときは、コードの交換が必要です。お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
	天板がいっぱいまで上昇または下降していることが考えられます。 **〈上昇しているとき〉** レバーを下に押して天板が下降するか確認してください。下降すれば正常です。下降しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 **〈下降しているとき〉** レバーを上に押して天板が上昇するか確認してください。上昇すれば正常です。上昇しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	連続で1分以上、天板を動かしていることが考えられます。約10分ほど操作を止めて、もう一度上昇しないときはレバーを上に、下降しないときはレバーを下に押してください。
	上昇しないときは、天板に40kgを超えて、ものをのせていることが考えられます。天板からものを下してください。
	天板やデスクトップパネルが何かものに当たっていることが考えられます。当たっているものを取り除くか、テーブルの位置を調整してください。
● 昇降操作はできるが、レバーを操作しても最高高さ未満の、ある一定の高さまでしか天板が上昇しない。または、最低高さより上の、ある一定の高さまでしか天板が下降しない。	高さの上限、または下限のリミット設定がされてしまっていることが考えられます。 ファクトリーリセットを行ってください。 **〈ファクトリーリセットのしかた〉** リマインダー設定ボタン(🔔)とメモリー設定ボタン(☆)を同時に8秒長押しし、LEDが赤く3回点滅したことを確認してください。 その後、⑰ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行ってください。
● 上昇操作中に障害物に接触したまま停止してしまった。	コントロールパネルのレバーを下に押して天板を下げ、障害物を取り除いてください。
	レバーを下に押しても天板が動かないときは、レバーを下に小刻みに押して天板を下げ、障害物を取り除いてください。

こんなときは →	こう処置してください
● 下降操作中に障害物(※)に接触して、障害物が詰まってしまった。	コントロールパネルのレバーを上に押して天板を上げ、詰まった障害物を取り除いてください。
	レバーを上に押しても天板が動かない、またはすぐに下降に転じるときは、レバーを上に小刻みに押して天板を上げ、詰まった障害物を取り除いてください。
● 昇降操作中に、天板が傾いてしまった。	小刻みに天板を下降させたときに、障害物に当たったことが考えられます。または、コネクタがコントロールボックスに確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。 次に下記の要領で初期化を行ってください。 1.天板の下に、下降時に接触するおそれがあるものがあれば、取り除いてください。 2.⊗ボタンを(レバーを下に)長押しして、天板を最低高さ(約63㎝)まで下げてください。(下降中に表示画面に「E01」が点滅します。) 以上で初期化操作は完了です。
● 表示画面に緑色もしくはオレンジ色のLEDが点滅している。	リマインダー機能が作動しています。使用しない場合は、⑯ページ「6リマインダー機能の使いかた」を参照して、リマインダー機能を「OFF」に設定してください。

(※)天板下にあるイスやワゴン、脚に取り付けた配線用のマグネットなど

こんなときは →	こう処置してください
● コントロールパネルの表示画面に「E01」、もしくは「INITIALISE」が表示された。	設定高さが不明のエラーコードです。⑰ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行ってください。
● コントロールパネルの表示画面に「E02」が表示された。	上昇方向に負荷がかかっているエラーコードです。負荷をかけているものを取り除いてください。
● コントロールパネルの表示画面に「E03」が表示された。	下降方向に負荷がかかっているエラーコードです。負荷をかけているものを取り除いてください。
● コントロールパネルの表示画面に「E10」が表示された。	電源電圧低下のエラーコードです。電源コードが確実に接続されているか確認してください。
● コントロールパネルの表示画面に「E16」が表示された。	間違ったボタンが押されたエラーコードです。改善しないときは、⑰ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行ってください。 またレバー下部の設定ボタンとレバーを同時に押していることが考えられます。目的の動作に必要な箇所のみ操作してください。

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

8.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

⚠注意

お客様での交換作業はしないでください。

製品の故障・破損の原因になります。

9.仕様

品　名		スタンジット 単柱電動昇降テーブル
品　番:		**DSS-LS0906F**
外寸法(㎜)	幅	950
	奥行き	660
	高さ	640 ～ 1300
素材	天板	表面材:メラミン樹脂化粧板、芯材:パーティクルボード、 エッジ:樹脂押出材(ABS、PVC)
	脚ベース	スチール(焼付塗装)
	配線トレー	スチール(焼付塗装)
	配線クリップ	樹脂(ナイロン)
	配線クランプ	樹脂(ナイロン)
	アジャスター	樹脂(PE)
耐荷重	天板	392N(40kgf)
	配線トレー	49N(5kgf)
アジャスター床傾斜調整範囲(㎜)		11

電気部

定格電圧	AC100V
定格消費電力	120W
定格周波数	50/60Hz

⚠注意

耐荷重(上表の数値)を超えて、ものを置かないで(入れないで)ください。

- 故障や変形の原因になります。
- 落下によるけがや破損の原因になります。

【家庭用品品質表示法に基づく表示】

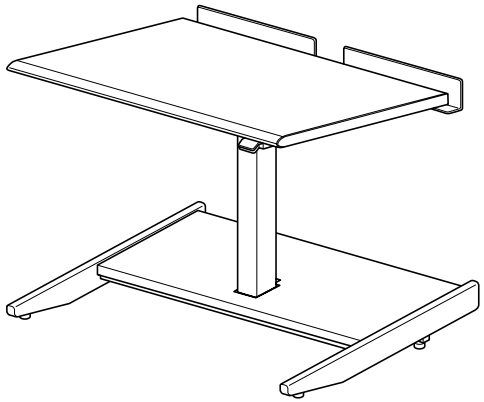
外形寸法(㎜)	幅950㎜×奥行き660㎜×高さ640 ～ 1300㎜
甲板の表面材	合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)
表面加工	脚部、コードダクト部:ポリエステル塗装
取扱い上の注意	直射日光および熱をさけてください。 加熱した鍋、湯沸しなどを直接置かないでください。
	コクヨ株式会社　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

10.組み立てかた

⚠注意

- **製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。**
  誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- **製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。**
  転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

1 完成図



2 使用工具

組み立てる前に、使用工具を確認してください。

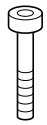
工　具　の　種　類
L型六角レンチ（対辺5㎜）※製品に同梱しています。
⊕ドライバー（NO.2）

3 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

梱包品番	部　品　の　種　類	個　数
DSST-S0906	天板	1
DSSF-0906	脚ベース	1
	支柱	1
	天板受け金具	1
	配線トレー	2
	コントロールボックス	1
	コントロールパネル	1
	モーターコード	1
	電源コード	1
	配線クリップ	1
	配線クランプ	1
	配線マジックバンド	1
	六角穴付キャップボルト M6×50	1
	六角穴付キャップボルト（平座金付）M6×20	脚本体白：白メッキ17 脚本体黒：黒メッキ17
	六角穴付ボタンボルト M8×20	脚本体白：白メッキ2 脚本体黒：黒メッキ2
	十字穴付トラス タッピンネジΦ3.5×20	1
	十字穴付トラス タッピンネジΦ5.0×16	1
	十字穴付皿頭 タッピンネジΦ4.5×35	2
	L型六角レンチ（対辺5㎜）	1

使用するボルト



六角穴付
キャップボルト
M6×50
（1個）

六角穴付
キャップボルト
（平座金付）
M6×20（17個）

六角穴付
ボタンボルト
M8×20（2個）

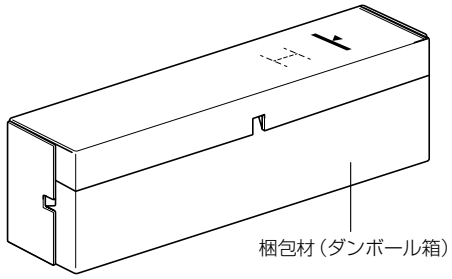
十字穴付トラス
タッピンネジ
Φ3.5×20（1個）

十字穴付トラス
タッピンネジ
Φ5.0×16（1個）

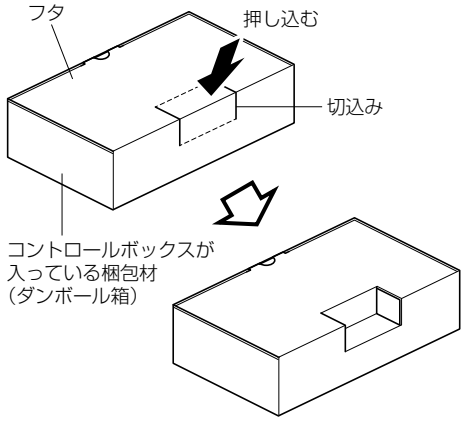
十字穴付皿頭
タッピンネジ
Φ4.5×35（2個）

4 脚部の組み立て

1. 支柱の入っている梱包材（ダンボール箱）に収納されているすべての部品を取り出し、梱包材を元のとおりに組み立ててください。



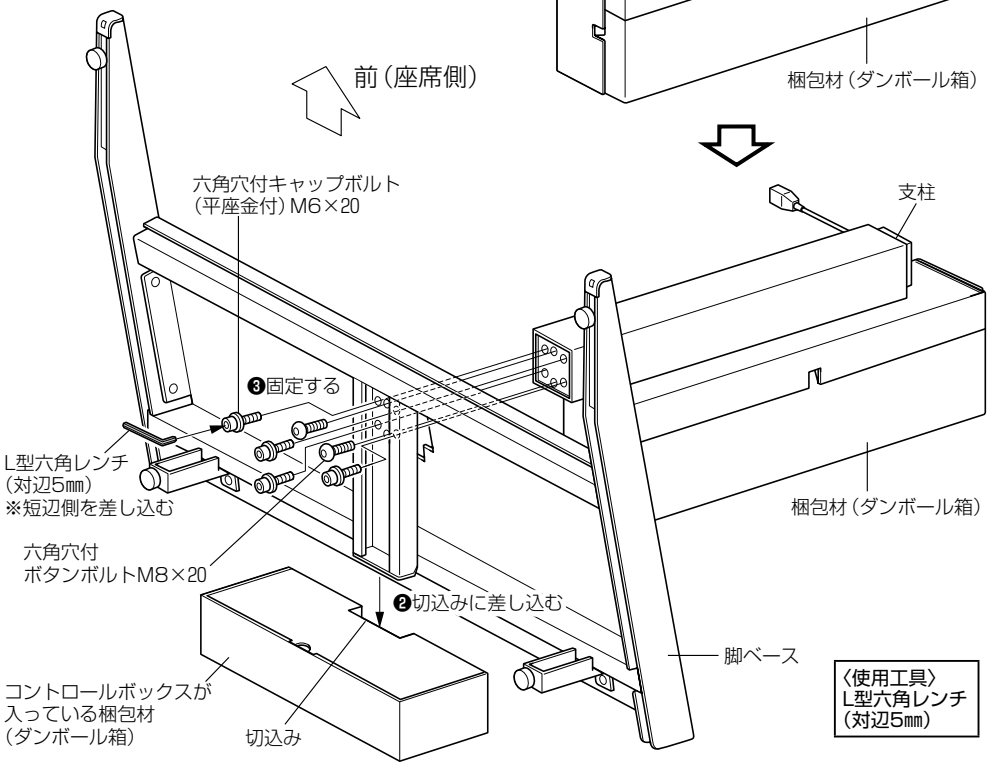
2. コントロールボックスが入っている梱包材（ダンボール箱）に収納されているすべての部品を取り出し、フタを閉じて切込みを押し込んでください。



3.「**1**」で組み立てた梱包材の上に、支柱を目印に合わせて置き、「**2**」で組み立てた梱包材の切込みに脚ベースを差し込んで自立させてください。

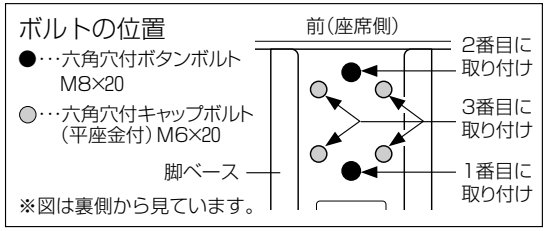
※このとき、支柱から伸びているケーブルが、前（座席側）から見て、左側にくるようにしてください。

4.支柱と脚ベースを、下図の順番のとおりボルトで固定してください。



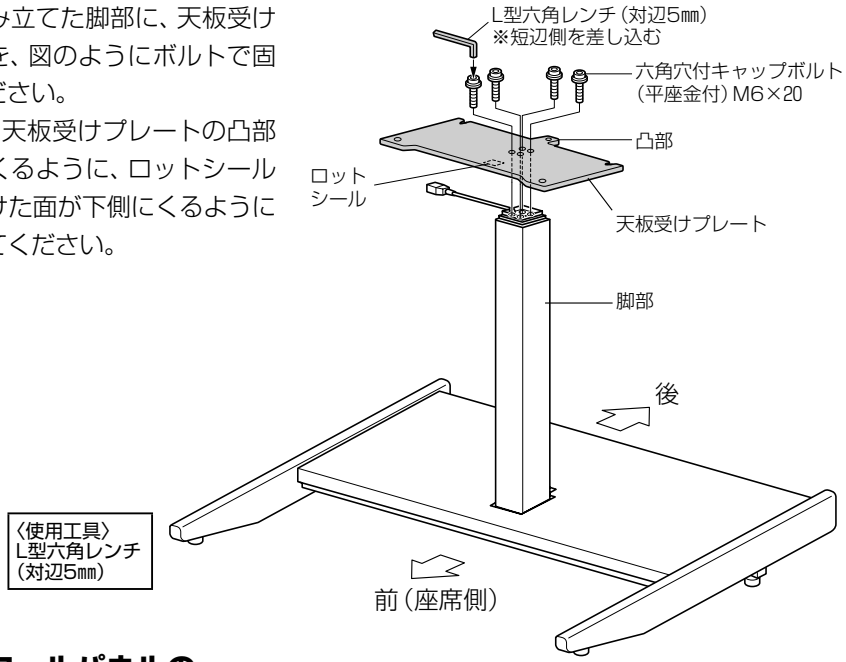
〈ご注意〉

支柱と脚ベースは2種類のボルトで固定します。**ボルトの位置と取り付けの順番を間違えないように**ご注意ください。



5.「**4**」で組み立てた脚部に、天板受けプレートを、図のようにボルトで固定してください。

※このとき、天板受けプレートの凸部が後側にくるように、ロットシールを貼り付けた面が下側にくるように取り付けてください。

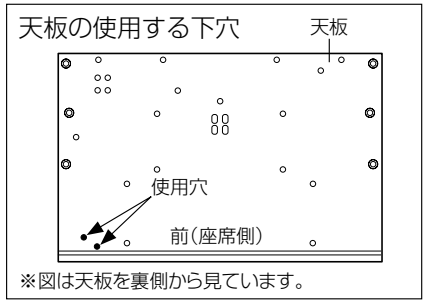


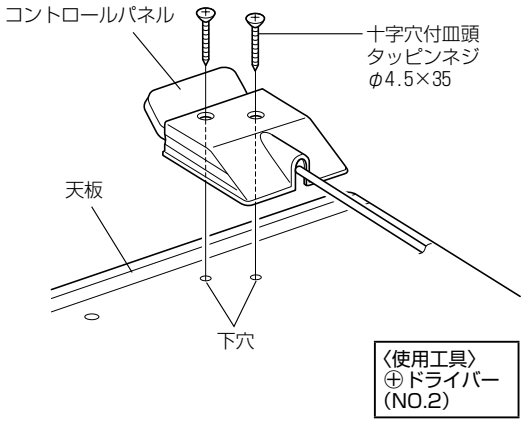
5 コントロールパネルの取り付け

天板を裏返しに置き、コントロールパネルをボルトで固定してください。

〈ご注意〉

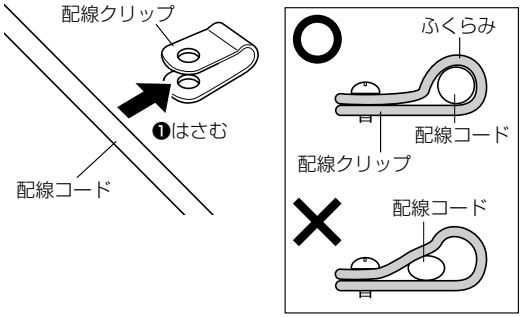
取り付け時、タッピンネジを締め付けすぎないようにご注意ください。
レバーの樹脂が割れるおそれがあります。



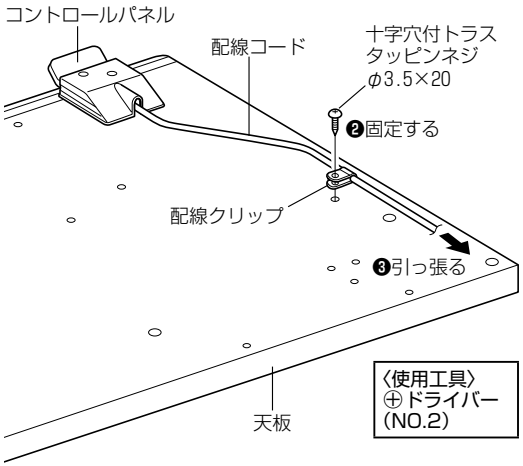


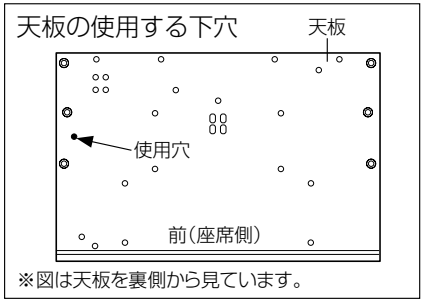
6 配線クリップの取り付け

1.コントロールパネルの配線コードを配線クリップではさんでください。
※このとき、配線コードは配線クリップの丸いふくらみにはさんでください。



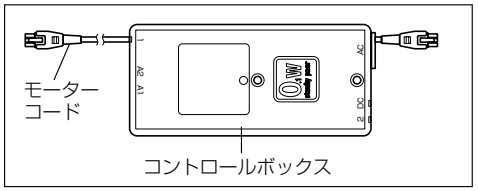
2.配線コードを通した配線クリップを天板にタッピンネジで固定してください。
※固定後、たるみが出ないように、配線コードを引っ張ってください。

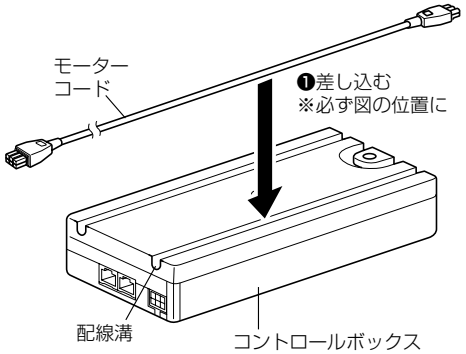




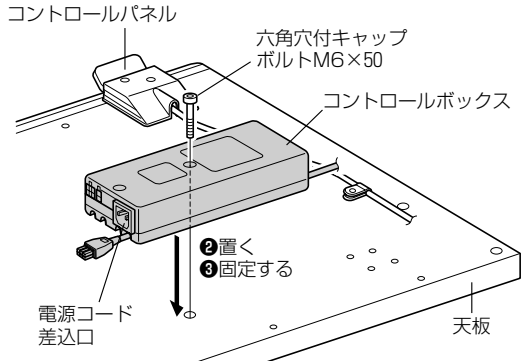
7 コントロールボックスの取り付け

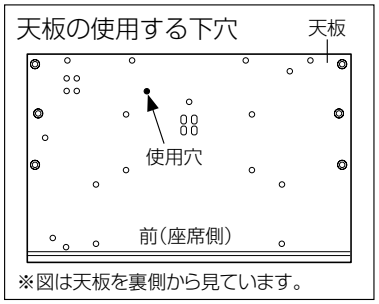
1.コントロールボックスの配線溝に、モーターコードを図のように差し込んでください。
※配線溝は2カ所ありますが、必ず図の位置に差し込んでください。

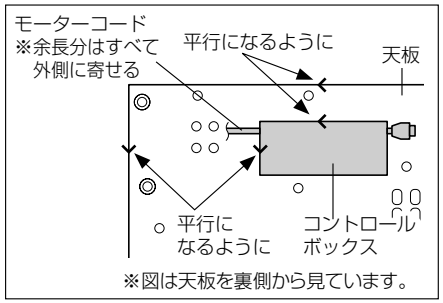




2.コントロールボックスを天板に置いてください。このときコントロールボックスの電源コード差込口が、内側に向くようにしてください。
3.コントロールボックスを天板に、ボルトで固定してください。
※このとき、コントロールボックスが天板と平行になるように取り付けてください。
※モーターコードの余長分はすべて外側に寄せてください。

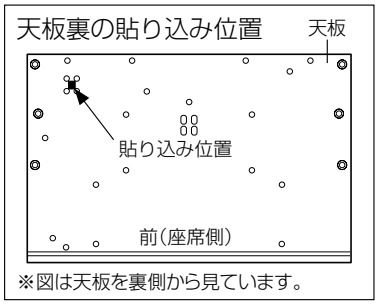


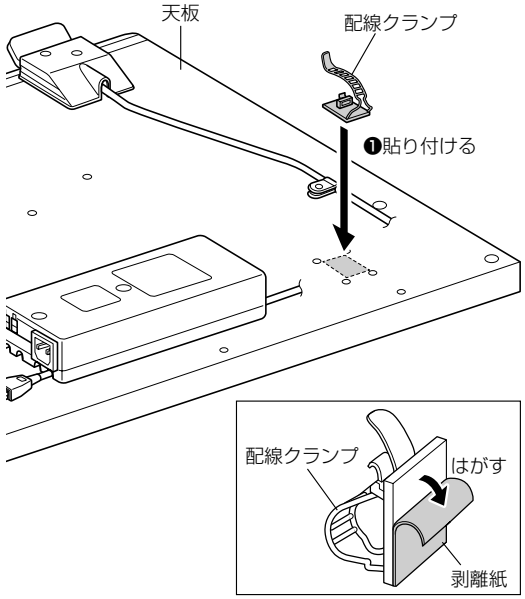




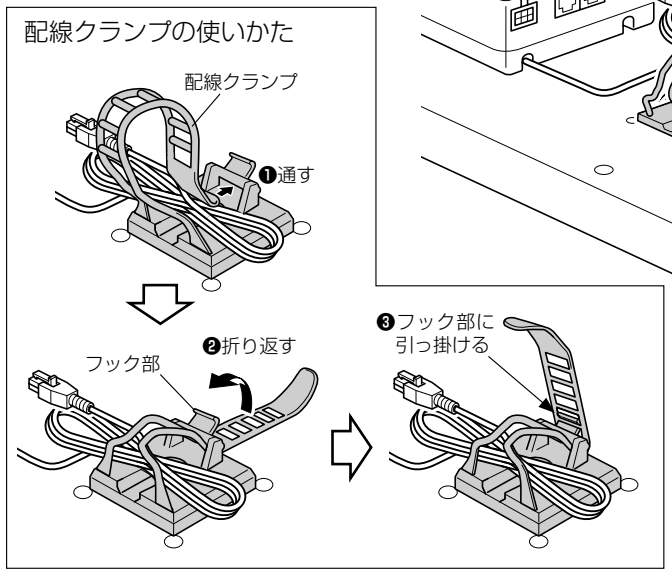
8 配線コードの接続

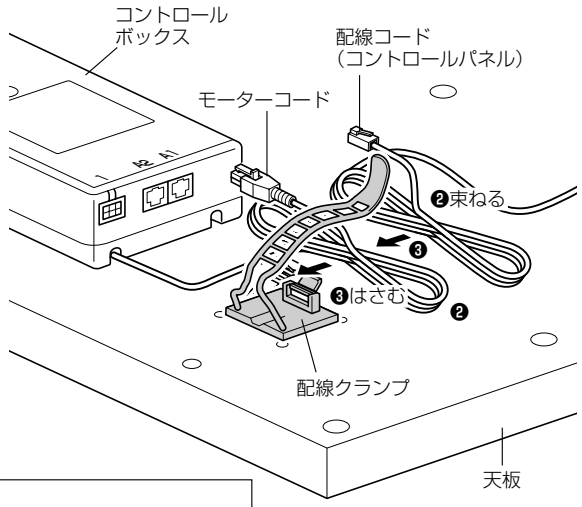
1.配線クランプの剥離紙をはがし、図のように天板の裏側に貼り付けてください。





2.モーターコードとコントロールパネルの配線コードの余長分を図のように束ね、配線クランプではさんでください。



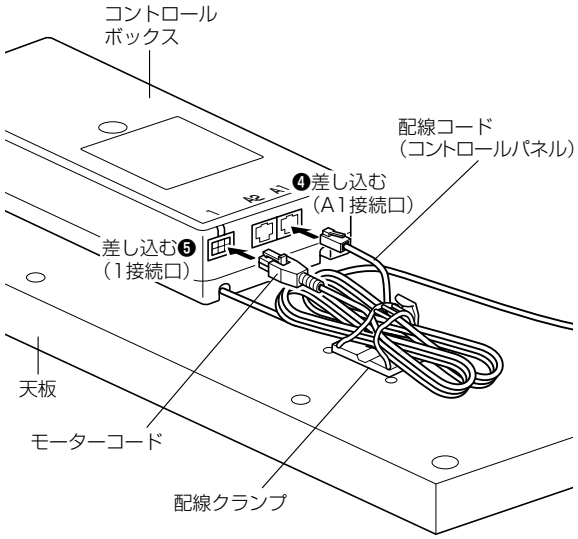


3.コントロールパネルの配線コードのコネクタを、コントロールボックスの「A1」の接続口に奥までしっかり差し込んでください。

〈ご注意〉

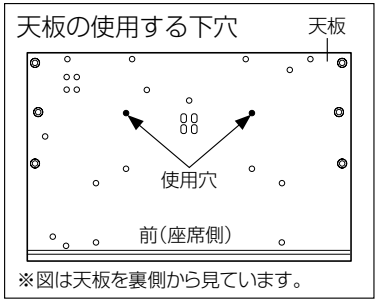
- A2の接続口は使用しないでください。
- コネクタの向きに注意してください。

4.モーターコードのコネクタを、コントロールボックスの「1」の接続口に奥までしっかり差し込んでください。



9 天板の取り付け

1.図のように天板にボルトを、約8～10㎜程度のすきまを残して仮締めしてください。

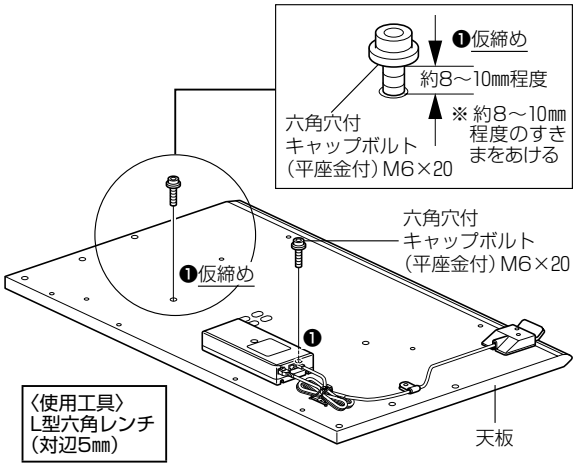


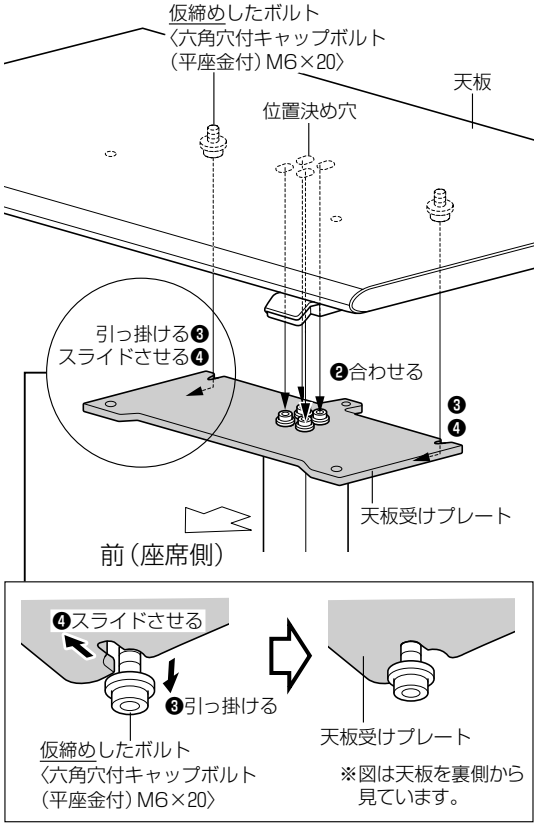
2.「**1**」で仮締めしたボルトを、㉖ページ「**5**」で取り付けた天板受けプレートの切欠き部に引っ掛けるようにして、天板をのせてください。

※天板裏側には、位置決め穴があります。天板受けプレートのボルト頭に合うように配置してください。

〈ご注意〉

このとき、脚部の支柱がいちばん低い位置になっていることをご確認ください。

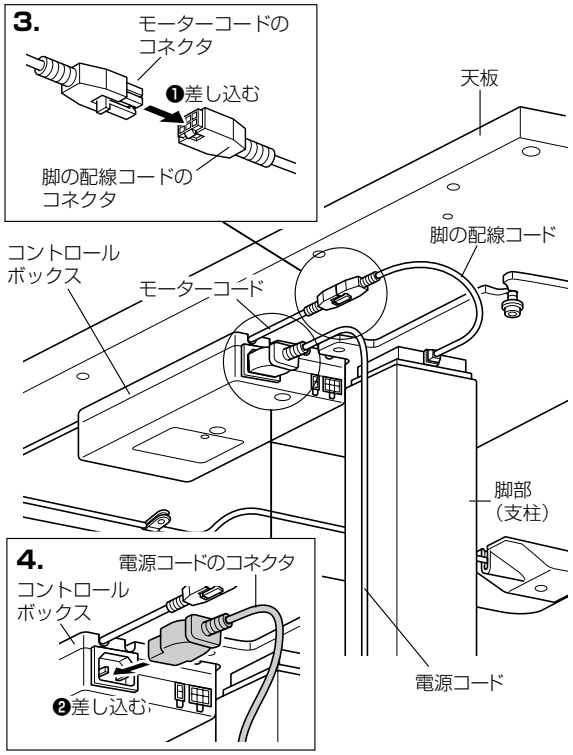




3.脚部（支柱）の配線コードとモーターコードのコネクタを接続してください。

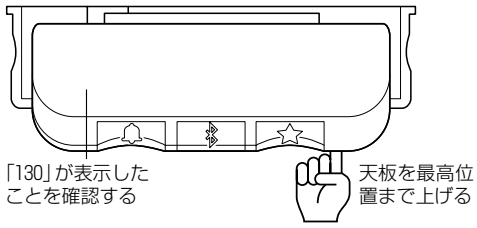
4.電源コードのコネクタを、コントロールボックスの接続口に奥までしっかり差し込んでください。

5.電源コードのプラグを外部電源に接続してください。



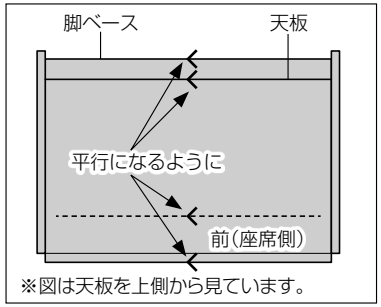
6.10秒以上時間をあけた後、⑰ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」の操作を行い、表示画面に「64」が表示したことを確認してください。

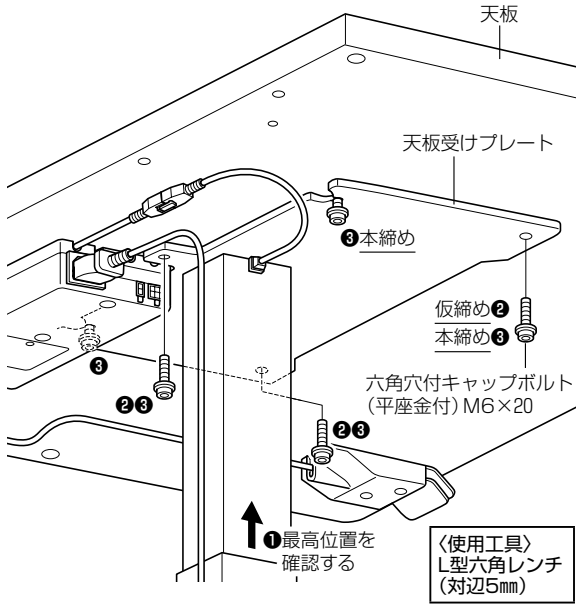
7.コントロールパネルを操作して、天板を最高位置まで上げ、表示画面に「130」が表示したことを確認してください。



8.ボルトで天板と天板受けプレートを仮締めしてください。（3カ所）

9.天板と脚ベースが平行になることを確認しながら、仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

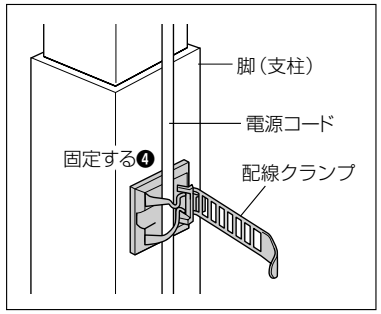


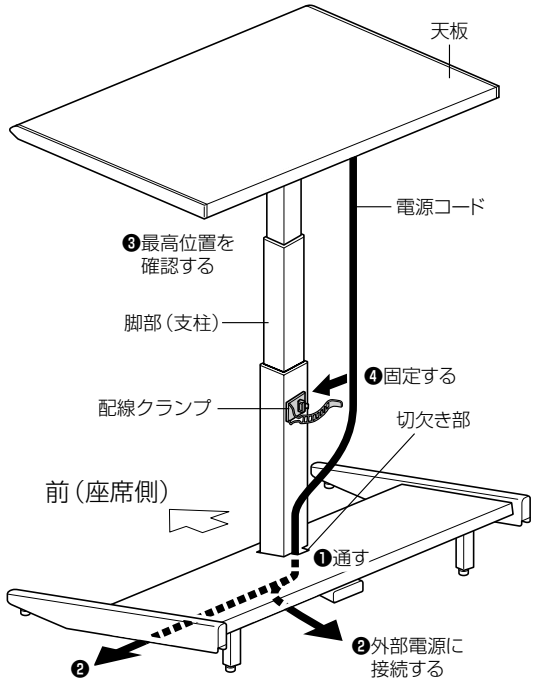


10.電源コードのプラグを外部電源から抜いてください。

11.「**10**」で外部電源から抜いた電源コードを、図のように脚ベースの切欠き部を通して配線し、再度外部電源に接続してください。（⑥ページ1参照）

12.天板が最高位置にあることを確認し、電源コードを配線クランプで固定してください。（㉙ページ「**2**」参照）

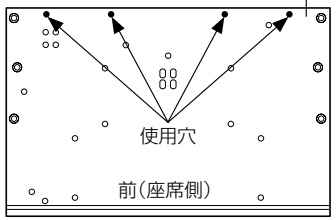




10 配線トレーの取り付け

図のようにボルトで配線トレーを固定してください。

※配線トレーには用途に応じて3種類の取り付け方ができます。また左右で9通りの組み合わせが可能です。⑩ページ3を参照してください。



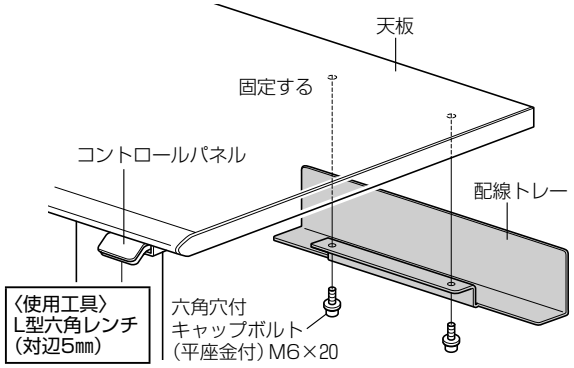
※図は天板を裏側から見ています。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

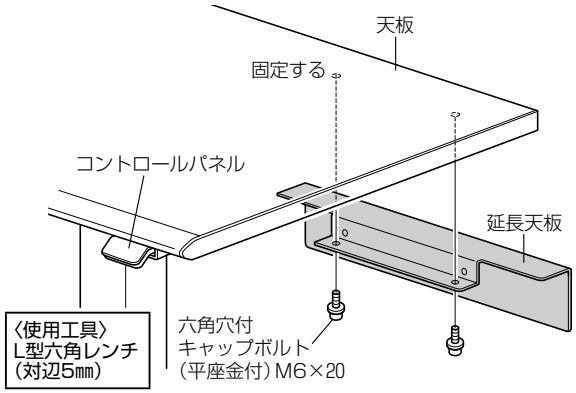
※ ガタツキがある場合は、⑫ページ「2レベル調整のしかた」を参照し、アジャスター調節を行なってください。

※ 作業終了後、㉞ページ「11.組立後の作動確認」を行ってください。

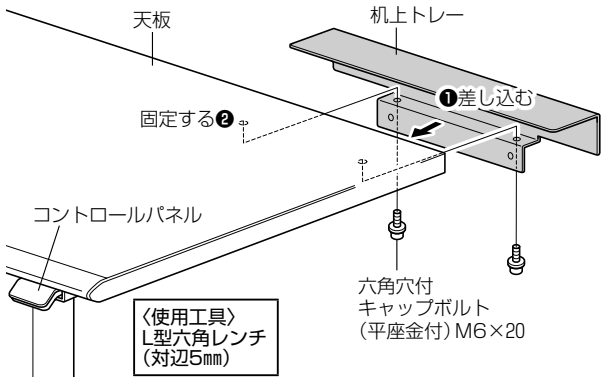
配線トレーとして使用する場合



拡張天板として使用する場合



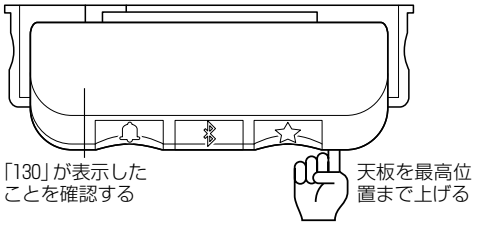
机上トレーとして使用する場合



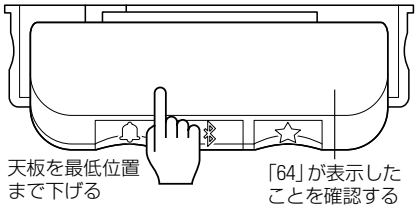
11.組立後の作動確認

1. レバーを上に押し、表示画面に「130」が表示したことを確認してください。

※このとき、脚の昇降摺動面に潤滑油が付着している場合は、潤滑油を拭き取ってください。(洗剤を使わずから拭きしてください。)



2. レバーを押し続けて天板を最低位置まで下げ、表示画面に「64」が表示したことを確認してください。



以上で作動確認は終了です。